

【報告】R4年 台風15号（9月23日～24日） 庵原川、山切川

9月23日(金)夜から24日(土)の朝にかけて、静岡県では台風15号の接近に伴う大雨で河川の増水が相次ぎました。

この短時間で1時間雨量の最大値は、静岡県西部から中部の広い範囲で100 mmを超え、静岡では24日6時までの24時間雨量が416.5mmに達したところもありました。(観測史上1位) 静岡県や国土交通省が各地に設置している雨量計では、静岡市清水区日本平111 mm(24日2:40まで)、静岡市清水区能島107 mm(24日2:20まで)、静岡市清水区和田島104 mm(24日2:00まで)を観測しました。

県内ではこの影響により、河川の氾濫、護岸の崩壊、土砂崩れ、浸水、道路の通行止めや停電、断水などライフラインへの影響もあり、県、市町、関係機関、自衛隊、ボランティア等による復旧作業が現在も継続している状況です。

静岡市内(特に清水区)では巴川や各河川、水路の氾濫により、2000棟以上の家屋で床上・床下浸水被害があり、また興津川の取水口に流木が詰まった影響などで清水区の8割にあたる、およそ6万3000世帯で断水が起き、復旧までに1週間以上かかる状況でした。

庵原川流域でも庵原川・山切川両河川で護岸崩壊、道路決壊等数ヶ所で災害が起きており、庵原地区・袖師地区の家屋への浸水被害も多々ありました。

庵原川下流から上流までの計5箇所で開催されている、護岸洗堀防止・根固めの石倉カゴも数ヶ所、水生生物モニタリング調査用の石倉カゴも数ヶ所で被災しており、カゴ流出等が確認されました。

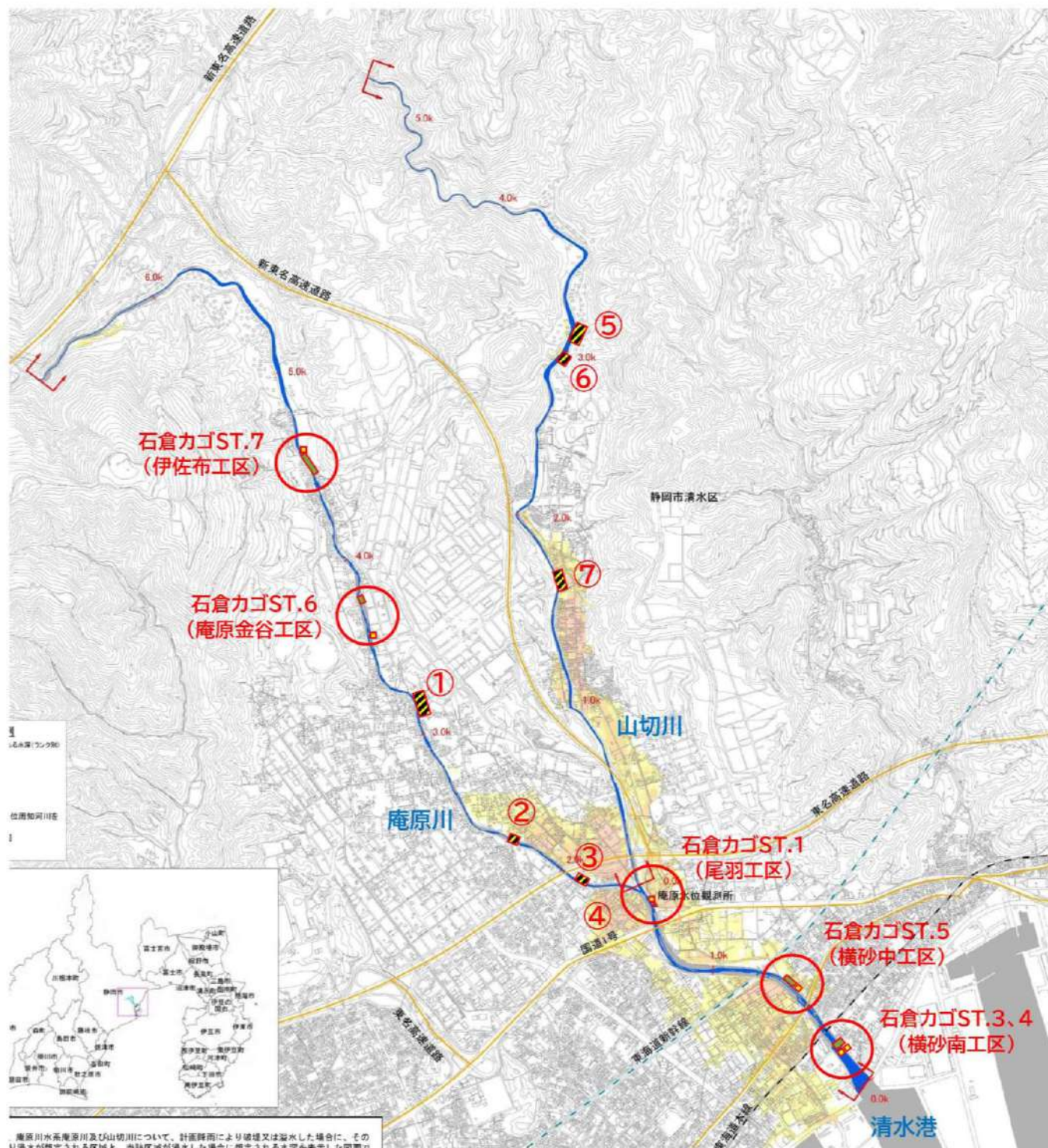
現在、県静岡土木事務所さんと清水区内の地元土木業者さんで庵原川・山切川の復旧工事を急ピッチで行っていただいております。

現時点において、残り今シーズンのいはらの川再生プロジェクトの石倉カゴ調査を実施出来るか否かを見極めている状況です。

令和4年10月6日 いはらの川再生PJ会 伏見直基

二級河川庵原川、山切川

- ST.1～ST.7 石倉カゴ設置箇所(洗堀防止・根固め用石倉カゴ及びモニタリング調査用石倉カゴ)
 ①～⑦ 主要災害箇所(護岸崩壊、道路欠損等)



庵原川水系庵原川及び山切川について、計画降雨により破壊又は漏水した場合に、その漏水が想定される区域と、当該区域が漏水した場合に想定される浸水範囲、その浸水範囲

庵原川被災状況

庵原川① 新田橋上流左岸



(新田橋上流 平常時)



庵原川③ 千日橋上流左岸



庵原川④ 千日橋下流右岸



庵原川被災状況

庵原川② 原 水色橋 （伊佐布工区の洗堀用石倉カゴが下流の水色橋まで流出）



山切川被災状況

山切川⑥ 杉山橋上流左岸



山切川⑤ 杉山バス停付近



山切川⑦ 山切自治会館 下流左岸



庵原川石倉カゴ 状況

ST.7 (庵原地区 伊佐布工区)



モニタリング用石倉カゴは移動し土砂が堆積し蓋が開いたが、カゴ自体は問題なし。



護岸洗堀防止用石倉カゴは根固め機能を果たしている。ただし再下流部の2基が下流に流出。



庵原川石倉カゴ 状況

ST.1 (庵原地区 尾羽工区)



根固め用石倉カゴは根固めの機能を果たしている。

上流から流れてきた破損した鉄製じゃかごの残骸と
流木塵芥が石倉カゴに引っかかっていたので撤去。
モニタリング用石倉カゴは流出、土砂堆積も殆どなく
無事。



庵原川石倉カゴ 状況

ST.5(袖師地区 横砂中工区)



根継用石倉カゴは無事。真ん中のモニタリング用石倉カゴは流出してしまっている。
※上流にて災害復旧工事を行っており濁水の為詳細は確認できない。



庵原川石倉カゴ 状況

ST.3、ST.4 (袖師地区 横砂南工区)



根固め用石倉カゴ、下部の袋型根固工法用袋材が流出。コンクリート根固めブロックが沈下。モニタリング用石倉カゴは不明。



左岸護岸上部崩壊

※上流にて災害復旧工事を行っており濁水の為詳細は確認できない。